

目 次

はしがき	i
序 章 研究の目的と意義	1
第 1 節 「介護サービスの質を問う」ことへのまなざし	2
第 2 節 本論文の主題設定と研究方法	12
第 3 節 本論文の構成	15
第 1 章 ケアの質	19
はじめに	19
第 1 節 政策提言と制度改正	19
第 2 節 ケアの質の向上を図る取り組み	28
第 3 節 ユニットケアの取り組み	40
第 4 節 個別ケアを追求するケアの質	48
第 2 章 地域を取り込むケア（特別養護老人ホーム「杜の風」の事例から）	55
はじめに	55
第 1 節 対象地の概要と対象施設の現状	56
第 2 節 民生委員児童委員との関わり	66
第 3 節 地域住民と一緒に祝う敬老会	81
第 4 節 施設入居者が地域活動として参加する交通安全街頭啓発	88
第 5 節 終の棲家を目指す施設での看取り	95
第 6 節 地域を取り込むケア	105
第 3 章 地域と協同で進めるケア（特別養護老人ホーム「うぐいすの里」の事例から）	115
はじめに	115
第 1 節 対象地の概要と対象施設の現状	116
第 2 節 住民参加の施設づくり	122
第 3 節 協同で進める児童と高齢者の相互訪問	126
第 4 節 友達になった高齢者のお焼香に行った中学生	138
第 5 節 地域福祉の人財育成	144
第 6 節 地域と協同するケア	149

第4章 年齢や障害の程度を越えて取り組むケア(グループホーム「ながさか」 の事例から)	153
はじめに	153
第1節 事業化の経緯とその背景	154
第2節 モデル事業で試みる新たな生活の場づくり	156
第3節 認知症高齢者と知的障害者の関わり合い	158
第4節 モデル事業から一般事業化へ	172
第5節 制度を越えるケア	176
第5章 先駆的ケア実践が導く地域生活の実像	179
はじめに	179
第1節 近隣者との関わりで見つけた終の棲家	180
第2節 自宅と施設の二つの生活空間を持つ夫婦の暮らし	200
第3節 二人の知的障害者の日常	210
第4節 先駆的ケア実践が導く地域生活	224
終章 「関わり合い、向かい合う」ことが拓く新たな地平への助走	231
はじめに	231
第1節 先駆的ケア実践の特徴と主眼点	231
第2節 社会関係としてのケア改革	238
第3節 本論文の総括	245
謝辞	255
参考文献	257
初出一覧	265
補足資料	267